

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名

放課後等デイサービス

公表日 令和7年 3月31日

利用児童数 回収数 64

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	保護者からのご意見	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	61	3	0	0		<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の特性に合わせて、支援室の広さやレイアウトを工夫しています。また、児童の特性において、環境の変化が影響してしまう場合は、支援室を変更せずに使うようにしています。 ・主にOTでは、センターやセンターの庭を使い支援の幅を広げています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	55	6	0	3		<ul style="list-style-type: none"> ・指導員の入れ替えが多くなり、新たな担当者が同席する期間を適切に設け、保護者を交えた引継ぎを行っています。また、専門性向上のための研修を定期的実施し、意見交換等を通して、専門性の高い支援・療育を行うためのスキルを身につけています。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	52	7	2	3	入り口が少し狭い。	<ul style="list-style-type: none"> ・本館玄関の開き扉に、ロングサイズのドア指挟み防止ストッパーを設置し、子どもの座り位置から立ち上がり位置まで広範囲にカバーしています。また、寒さ対策にも便利です。 ・子どもの安全に配慮して必要な設備の改修をしています。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	59	3	0	2		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が入所する際には、本人及び保護者との面接の機会を持ち、利用者の特性や家族のニーズに合った支援が行えるように個別支援計画（専門的支援計画を含む）を作成します。更に、支援過程での面談（モニタリング）で、療育内容を丁寧に説明し、保護者の意見を真摯に受けとめ支援に反映させます。

適切な支援の提供	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	56	4	0	4	・支援の内容（プログラム）について、客観的に振り返る方法の一つとして、支援中は、保護者の同席をお願いしています。支援終了後には、保護者や子どもとの会話を大切に、支援内容の継続・変更について情報共有する時間を取っています。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	34	7	4	19	機会がありますが、平日開催のため、参加できていません。すみません。 ・コロナ感染症が5類に移行となり、子どもたちの交流が活発になってきました。保育所や学校での日常生活や行事で子ども同士の触れ合いの場が広がっているようです。また、子ども会、お祭り等を通して、地域の中で触れ合う場も多様化していると感じます。
保護者への説明等	⑦	支援内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	61	3	0	0	・保護者に対する利用についての説明は、サービス管理者や事務職員が、利用手続きや、利用者負担額等について、分かりやすく説明しています。 ・本年度から、登校しぶりや不登校児童生徒の受け入れサービスを開始するにあたり、市教育委員会及び市内小中学校に丁寧に説明する機会を持ちました。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができているか	60	4	0	0	・支援中の同席の機会や支援の前と後で保護者の声を常に把握し、支援に反映できるよう努めています。特に、本年度の報酬改定に伴い、利用者の特性に合わせて子育てサポートを実施しています。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	58	4	0	2	・利用を始める前の初期面談や支援開始後のモニタリングの機会を通して保護者の子育てに関する悩み等を聞きとり、助言等しています。 ・相談の内容によっては、担当支援者だけではなく、ベテラン職員が対応したり、専門的な知識やスキルを持つ職員が行なっています。

	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	49	5	0	10	参加できていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者主体の「ママ・パパ会」を随時開催し、いすみぶれも主体に開催している保護者会を年2回実施します。運営方針やぶれもの理念等をご理解いただくとともに、悩み相談や情報交換を行います。 ・保護者同士の連携は、イベントなどを通しても行われています。
保護者への説明等	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応されているか	46	4	1	13		<ul style="list-style-type: none"> ・支援時に、利用者や保護者から意見（苦情）が寄せられた場合は、利用者及び保護者の気持ちに寄り添い、組織で対応しています。 ・電話等で苦情が発生した場合にも、その内容を聞きとり状況把握をし対応策を検討できるように「ハウレンソウ」を周知しています。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	55	6	0	3		<ul style="list-style-type: none"> ・支援時には、原則、保護者の同席をお願いしています。支援後に、保護者と子育てに関する悩みについて相談を受ける時間は用意し、助言等を行っています。また、保護者からの相談があった場合に、改めて面談の機会を設けてる場合もあります。
非常時等の対応	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	59	1	0	4		<ul style="list-style-type: none"> ・「ぶれもだより」（広報紙）を毎月保護者あてに発行しています。活動の概要や行事予定、支援の啓発を載せています。 ・業務に関する自己評価については、ホームページへの掲載が必須となっています。今後も、継続して取り組みます。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	58	2	0	4		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内で個人情報保護・漏洩防止についての研修を随時行っています。法令等の確認にとどまらず、事例検討的に研修をしています。そして、職員間で厳重に注意喚起を行っています。 ・PCのHD及びUSB（記憶媒体）の管理に配慮しています。

	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。	58	3	0	3	・業務継続計画（自然災害・感染症）・各種緊急時対応マニュアルを保護者待合室に置き、いつでも閲覧できます。また、広報紙への掲載や保護者会等で、緊急時の対応について情報提供しています。
非常時等の対応	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	57	1	0	6	・職員の入れ替わりが多かったこともあり、計画に基づいて、緊急事態を想定した避難訓練を毎月実施しています。訓練は事前に通告することで、事業所内の職員が研修することを優先しています。 ・「ぶれもだより」等で具体的内容をお知らせしています。
	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	60	4	0	0	・利用者の中には、保護者に諭されながら通所する子どもがみられます。そこで、次の点に留意して支援を行います。 1.利用者との信頼関係を構築します。 2.利用者・保護者が納得できる取組をします。 3.専門分野の職員との情報交換で、ニーズに合った個別対応を図ります。
満足度	⑱	事業所の支援に満足しているか	62	2	0	0	両親が迎えに行けることが少ないが、担当の先生や、職員の方が、両親や祖母にとっても親切に説明をしてくださるので支援の内容や流れや手続きを理解していますし、子どもにあった支援ができて満足している。 ・保護者（家族）は、支援後の利用者の様子を見たり、話を聞いたりする中で、療育について評価する傾向があるように思われます。利用者が、納得して帰ることができるように、療育の質を向上させ、要望にそえるように努めます。 ・利用者のライフステージを見通した支援を行います。特に、就学前、進学前の児童生徒には、他機関と連携した支援を行っています。